

大和コンクリート工業㈱環境行動計画

平成20年10月28日

環 境 方 針

「環境理念」

大和コンクリート株式会社は、持続可能な社会を築く為に、環境負荷低減への活動を企業経営の重要課題と認識し、継続的な環境保全活動を実施する。

「環境指針」

1. 当社の活動、製品及びサービスにかかわる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進すると共に、継続的改善を図る。
2. 当社の活動、製品及びサービスにかかわる環境影響の中、次の項目を環境管理重点テーマとして取り組む。
 - (1)省エネルギーを推進する。(購入電力量・化石燃料等)
 - (2)省資源を推進する。(水・紙等)
 - (3)廃棄物等削減に努める。(紙類等)
 - (4)産業廃棄物の削減に努める。(汚泥等)
3. この環境方針を達成するため、目標を設定し、従業員をあげて環境管理を推進する。
また、環境目標を定期的に見直し、必要に応じて改善策を立案し実行する。

平成20年10月28日

大和コンクリート工業株式会社
代表取締役 高木 康成

3. 環境負荷低減の取組

当事業所では、環境負荷を削減するための目標を明確にし、その目標を達成する為の具体的取組みを設定した。

(1) 削減目標

削減項目	2007.4 ⁴ ~2008.3 ³	2009.3 ³	2010.3 ³	
	2007年度	2008年度	2009年度	
① 二酸化炭素の排出量 (kg-CO ₂ /人)	14,926	14,600	14,300	
② 廃棄物の排出量 (トン/人)	2.8	2.8	2.6	
③ コピー用紙の使用量 (kg/人)	11	10	9.7	

(2) 具体的取組

① 二酸化炭素の排出量

- ・ 室内温度を厳守する（夏 - 28 度以上 冬 - 20 度以下）
- ・ エアコンフィルターの清掃を行う（年 2 回 5 月, 11 月）
- ・ 晴天時・昼休みの場内消灯を実施する
- ・ 急発進、急アクセルを行わない
- ・ 適正タイヤ空気圧を維持する
- ・ リフト・運搬車のアイドリングストップを実施する
- ・ 不要な荷物を積載しない
- ・ 地下水の節水によりポンプ稼働を減らす
- ・ 不必要な動力電源の待機電力を減らす

② 廃棄物の排出量

- ・ 裏紙を使用する
- ・ 廃棄物の分別（可燃ごみ、不燃ごみ、廃プラスチックに分別して出す）
- ・ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する
- ・ 社内便の封筒は、繰り返し使用する

③ コピー用紙の使用量

- ・ 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用を活用する
- ・ スキャナーの活用にて、FAX 使用を軽減する
- ・ パソコン画面上での確認の徹底
- ・ 会議資料のペーパーレス化を推進する

④ 産業廃棄物の排出量

- ・ 材料の計量の的確化を行い、残量を減らす
- ・ 残材の転用を考慮する
- ・ プラント清掃の方法を検討する

⑤ その他の取組み

- ・ リサイクル製品の販売を推進する
- ・ 事業所で使用する事務用品は、グリーン製品から選択する
- ・ カタログには再生紙と大豆油インクを使い、そのことを表示する
- ・ 社内資料のカラーコピー印刷を削減する。

大和コンクリート工業(株)環境ISO推進委員会組織 平成20年10月策定

委員長 代表取締役 高木 康成

副委員長 工場長

書記兼幹事 営業部長

オブザーバ (株)ホクコン

委員

主旨 全社一丸となって環境ISOを推進する。

施策 環境ISOを推進するにあたり、年2回(半期毎)に委員会を召集し、取り組みに対する進捗状況を把握。検討する。

委員会における審議事項については、毎回記録する。

記録については、これを保管する。

期末の委員会においては、当期の総括・反省・継続事項等を検討し、次期への取り組みの土台とし、PDCAのサイクルを継続する。